



東京女子医大麻酔科 グラウンドラウンド

Anesthesia Grand Rounds at TWMU

2025年1月17日 (金)

東京時間朝7時-8時00分

教育研究棟3階会議室 & ZOOM

lkyoku.ac@twmu.ac.jpまで事前登録おねがいします

スタンフォード大学
Dr. Brice Gaudilliere



Associate Professor, Stanford

Department of Anesthesiology, Pain and
Perioperative Medicine

Stanford Department of Pediatrics

スタンフォード大学麻酔・ペイン・周術期科准教授
スタンフォード大学小児科准教授

マルチオーム解析による免疫系モニタリングで
臨床転帰を予測する！

Multioomic immune system monitoring for the prediction of clinical outcomes

マルチオーム解析は、凍結組織または凍結細胞から核レベルの情報を取り出し、細胞の機能解析によるバイオマーカーの情報や、細胞決定の擬似的な時間軸の発見や細胞運命分岐に至るまで、細胞レベルの情報を得ることができます。現代の医学の発展により、ハイスループットの解析とマシーンラーニングを組み合わせ、シングルセルレベルでの定量的なバイオマーカーの評価が可能となりましたが、臨床応用まではまだ程遠いのが現実です。特に、母集団としての生多く物学的な兆候から有意とみなすべきバイオマーカーを選出するのは至難の技。今回は、実際のデータに基づく術前の時点で外科手術の結果や妊娠のアウトカムなど、関連バイオマーカーが有意として選別される過程を含め、基礎から臨床への両端を見据えた解説をおこなっていただきます。未来の医学を切り開く、次世代シーケンスを用いた臨床医学の未来を一緒に見据えませんか？多くの方のご参加をお待ちしています。